

✧ 心電図

心電図は、心臓の筋肉（心筋）が収縮するときに発生する電気をとらえて、その変化を波形として記録したものです。心筋の異常やリズムの乱れ（不整脈）、心肥大などが分かります。

※ めまいや動悸、息苦しさ、気の遠くなる感じ、胸痛などの症状がある場合には、必ず病院を受診してください。

【主な所見】

異常 Q 波、境界域 Q 波 ST 上昇、ST 低下、ST-T 異常	心電図の波形には部分ごとに P,Q,R,S,T 波と名前がついていますが、心臓に異常があると波形に変化が生じます。 狭心症、心筋梗塞の初期段階のこともあります。
心房細動、心房粗動	放置すると心房内に血液の塊ができて脳梗塞を起こすことがありますので、必ず病院を受診してください。
上室性期外収縮 心室性期外収縮	通常の刺激以外に異常な刺激が発生するとみられる不整脈の一種です。健常者でも緊張、ストレスなどで見られる場合があります。頻発するものや症状がある場合は病院を受診してください。
左脚ブロック 右脚ブロック	心室内にある刺激伝達路に障害が起こる状態です。心疾患が隠れている場合があるため判定・指示を確認してください。
左室高電位・肥大、左房負荷 右室肥大、右房負荷	心臓の動きは正常ですが、心臓内の容積が拡大したり、筋肉が肥大している状態です。原因として、高血圧や心臓弁膜症等、心臓に負担がかかっている場合や肺疾患等があげられ、原因疾患の管理も非常に重要です。

右軸偏位、左軸偏位 時計回転、反時計回転	心臓内を伝わる電気は、通常左下方向へ進んでいますが、左右に偏っていたり、心臓自体が左右へ傾いている状態です。
-------------------------	--

◇ 心拍数

心臓が1分間に拍動する回数のことを指します。脈拍ともいいます。安静時の心拍数が100以上の場合は「頻脈」、50以下の場合は「徐脈」と呼ばれます。